

登録コード	F3A10110	開講年度	2026				
授業科目	新入生ゼミナール（繊維）					担当教員	KIM KYOUNGOK 他
英文授業名	Fresher's Seminar					副担当	児山 祥平・田中 稔久・KIM KYOUNG HOU
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	金曜・4時限	対象学生	
講義室	共通教育1 2 講義室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	2 6 Fカリ・先進感性，2 5 Fカリ・先進感性，2 4 Fカリ・先進感性，2 3 Fカリ・先進感性						
	【2023年度以降カリキュラム対象】繊維・感性工学に関する知識を基に、モノ作りを実施できる能力					⇔	「先進繊維工学」、「感性工学」の概念と要素技術を知り、高年次の専門科目に向けた基盤を形成することができる。
	【2023年度以降カリキュラム対象】繊維関連製品群の設計と計測・評価のプロセスを理解する能力					⇔	社会、生活、産業において利用される繊維関連製品群の製造プロセスを理解し、製品に対する要求性能を正しく計測・評価する方法を知ることができる。
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	充実した学生生活を過ごすためのガイダンス、リテラシー教育（情報リテラシー、こころの健康、大学生活のリスク対策、図書館ガイダンス、パソコンの使用法と設定方法、情報セキュリティガイダンス等）を行う。 加えて、先進繊維・感性工学科の教員がオムニバス形式で「先進繊維工学」、「感性工学」の要素技術について講義する。 実践的なテーマを掲げ、主体的な学びを促し、発表スキル、技術的なコミュニケーションスキルの向上を目的としたプレゼンゼミ、学内研修を行う。						
(5)授業計画	この講義は、毎回の出席を基本とする 1回目：図書館ガイダンス[図書館、児山] 2回目：こころの健康・大学生活のリスク対策、②グローバルガイダンス[金晃屋(オンライン)] 3回目：情報セキュリティガイダンス[情報基盤センター、金晃屋(オンライン)] 4回目：情報リテラシー[金晃屋] 5回目：感性工学のすすめ[吉田] 6回目：予備日（学内研修(4月18日)の振替日） 7回目：感性とデザイン[長尾] 8回目：予備日（学内研修(4月18日)の振替日） 9回目：繊維と糸[金慶孝] 10回目：予備日（学内研修(4月18日)の振替日） 11回目：環境と感性[田中] 12回目：予備日（学内研修(8月6日)の振替日） 13回目：繊維・感性工学における数値解析[堀場] 14回目：予備日（学内研修(8月6日)の振替日） 15回目：感性価値を考える[上條]、授業アンケート ＊4月18日：学内研修（オリエンテーション）[金晃屋、長尾、田中他] 8月6日：学内研修（プレゼンゼミ中間発表）[学科教員] （学内研修の振替は6、8、10、12、14回目） ＊各回の授業で、課題や小テストを課す場合がある						
(6)成績評価の方法	ガイダンスやリテラシー教育は、確認テストにより学習効果を評価する。 オムニバス講義は、毎回の講義で課す課題や小テストに基づき、各回10点満点で点数化する。 プレゼンゼミは、成果発表を10点満点で点数化する。 学内研修は、取り組み20点満点で点数化する。 以上の得点を総合して成績を判定する。						
(7)成績評価の基準	(Ⅰ)オムニバス講義において解説された専門用語や方法を正しく理解し、これを用いて議論できる水準にあるとみなすことができれば「合格水準にある」とする。 (Ⅱ)プレゼンゼミにおいて、主体的に学習し、成果を分かりやすく発表し、他者の発言の意図を理解して論理的な応答ができれば「合格水準にある」とする 「卓越した水準にある」とは、両項目で感心できる学習効果があったと評価できること。 「かなり上の水準にある」とは、両項目で優れた学習効果があったと評価できること。 「やや上にある」とは、両項目で良い学習効果があったと評価できること。 「水準にある」とは、両項目で学習効果があったと評価できること。						
(8)事前事後学習の内容	この講義は、充実した学生生活と専門学習を行うための基盤をつくるための講義です。学習内容を定着できるよう復習時間を十分に確保する必要がある。十分な学習成果を得るためには、およそ90 時間の学習が必要です。このうち、およそ60 時間を復習などの時間外学習に当てることが必要です。						
(9)履修上の注意	授業終了後には、必ず授業内容を復習すること。特にパソコンの使用法は、各自の訓練により、十分						

(9)履修上の注意	に習熟することが重要である。授業後半の先進繊維・感性工学に関する内容はやや専門的になるので、理解できるまで復習を行うことが重要である。 参考書としては信州大学繊維学部編「はじめて学ぶ繊維」を推薦する。
(10)質問,相談への対応	各授業終了後、およびメールにて対応する。
(11)学生へのメッセージ	講義中に知識を身につけるのはもちろんのこと、レポート作成やプレゼン等でPCを使いこなせるようになることを目指して、PCに多く触れて技能向上につとめてください。
(12)その他	多くの回を対面で実施するが、オンラインで実施する回も有るので、実施方法をよく確認すること。また、実施形態が急遽変更される場合がある。その場合、eALPS、メール等の連絡手段を使って事前に連絡をします。
【教科書】	指定しない。
【参考書】	信州大学繊維学部編、はじめて学ぶ繊維、ISBN978-4526066313、日刊工業新聞社、2011、1900円(税抜)